

# 序章 第2次三遠南信地域連携ビジョン策定に当たって

## 1 策定の背景と趣旨

三遠南信地域は、愛知県、静岡県、長野県の県境地域に位置し、愛知県東部の東三河地域、静岡県西部の遠州地域、長野県南部の南信州地域を範囲としています。

本地域は、天竜川や豊川など中央構造線\*の川筋、谷筋に沿って、かつては「塩の道」を行き交う人々が、海と山との交流を育み、現在の民俗芸能をはじめとする特色ある文化や人、物、情報のつながりを築いてきました。人口、事業所数、製造品出荷額等は、都道府県と比べて遜色なく、豊かな経済資源や多様な自然環境、特色ある歴史、文化を有しています。

2008年（平成20年）に「三遠南信地域連携ビジョン」を策定し、その推進組織として、同年に「三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）」を設置しました。2017年（平成29年）2月の第24回三遠南信サミット2017in南信州では、ビジョンの開始から10年が経過することから「地方創生\*に対応した新たなビジョンの策定に取り組む」ことを宣言し、その後検討を進めてきました。

現在、我が国では、人口減少や少子高齢化社会による様々な課題に直面する中、国内各地の特徴を活かした活性化策を後押しする地方創生の取組や、2040年頃の行政課題に対応する地方行政のあり方について検討が進められています。2011年（平成23年）に発生した東日本大震災や2016年（平成28年）の熊本地震では、改めて人と人、地域と地域のつながりの大切さを再認識しました。

本地域は、骨格となる三遠南信自動車道\*の整備や、東京、大阪間を約1時間で結ぶリニア中央新幹線\*の長野駅設置などが予定されており、大きな発展可能性を秘めています。

こうした状況の中、テーマを「三遠南信流域都市圏の創生」とし、本地域の発展の方向性を明確に示すとともに、持続可能な地域づくりの指針となる「第2次三遠南信地域連携ビジョン」を策定し、これまで培ってきた産学官民の連携の蓄積を活かし、我が国の県境連携先進モデルとして積極的かつ重要な役割を果たしてまいります。

また、ビジョンの推進に当たり、主体となる住民、経済界、教育機関、行政、それぞれがこのビジョンを共有し、相互の連携、協力のもと、一丸となって本地域の振興、発展に向けて取り組んでまいります。

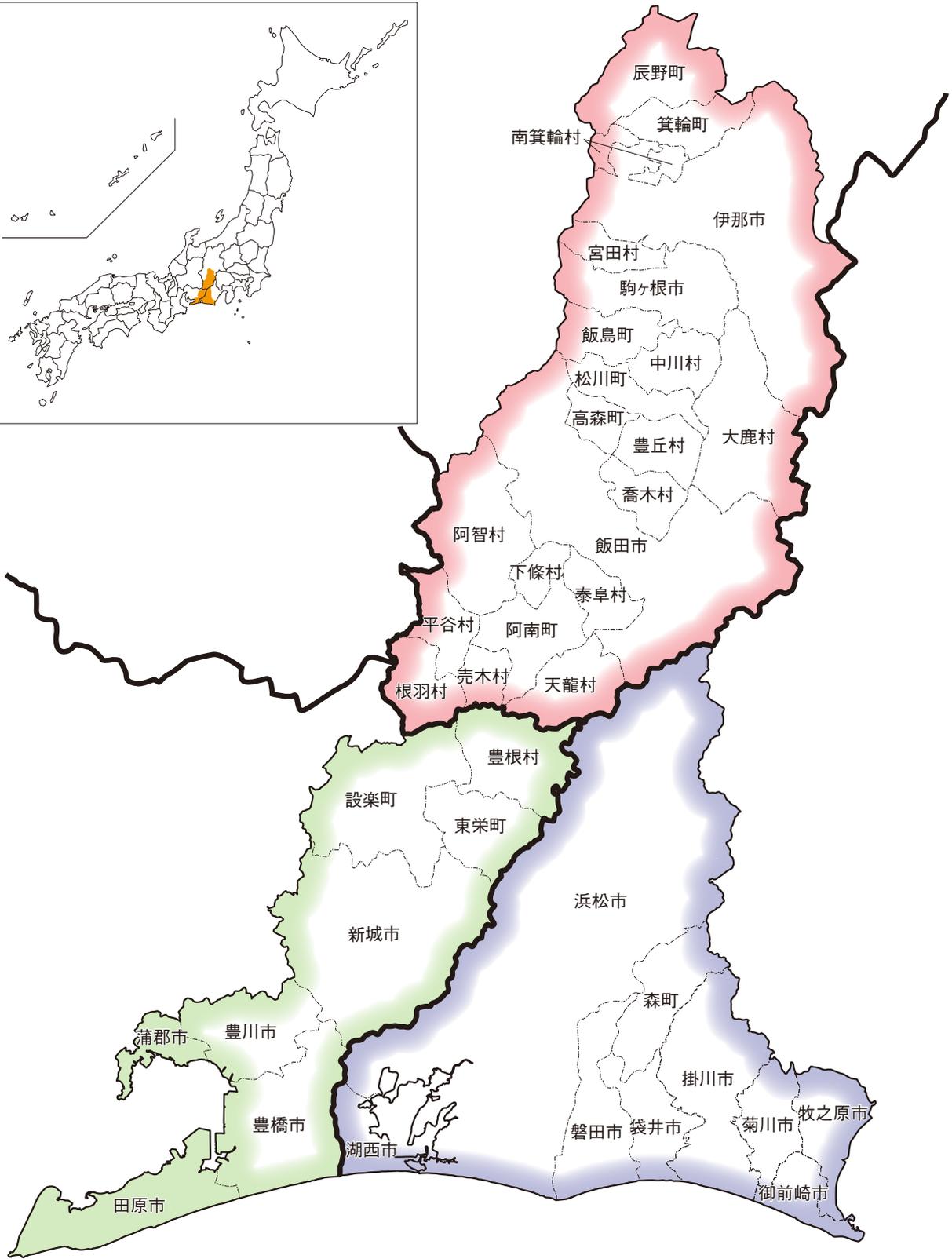


■ビジョン策定を宣言した第24回三遠南信サミット2017in南信州

## 2 計画期間

### 12年間（2019年度～2030年度）

第2次三遠南信地域連携ビジョンの計画期間は、2019年度（平成31年度）から2030年度までの12年間とします。



■三遠南信地域を構成する市町村